

虹の会新年親睦ピクニックにおける挨拶(1月18日)

新年あけましておめでとうございます。年末年始を健やかにご家族とともに楽しまれたことと思います。昨年はパース・成田直行便の再開と通年運航が実現し、パース日本祭りなど人的交流がさらに大きく拡大した年となりました。

虹の会皆様も、サンデーマーケット、川崎先生による「子供とうちで日本語で話す」ワークショップ、読み聞かせ、ケアサポート等有意義な活動を意欲的に開催して頂きました。特に7月の七夕イベントは予想を越える多数のご参加を得て大好評であった他、パースに根づいた交流行事も各所で支えて頂きました。

虹の会は2000年に西豪州政府に認可された最初の外国人ボランティア団体で、現在では様々なアジア系の団体があるなか、虹の会が先駆者です。豪州の専門的資格をもつた方々が集まり、ボランティアと助け合いの精神で、医療、出産、子育て、教育、介護等、日本人が当地で快適に暮らすため有意義な活動をされており、あらためて御礼を申し上げます。

虹の会には、昨年史上最大の2万人が参加した「パース日本祭り」の立ち上げにおいもご支援頂きました。若手はパースを愛する先輩方を尊敬し、その精神が着実に受け継がれていることは素晴らしいことと思っております。

本年は10月5-7日に日豪経済会議が開催されます。パースで開催されるのは17年ぶりとなり、600名近い日豪経済人がパースに参集します。西豪州における「日本の年」になり、日本でも西豪州への注目度がさらに高まることとなります。

本日は、パースグロリーFCに移籍し、当地に到着したばかりのサッカー選手のお二人(三竿推斗選手(前京都サンガ)と岡本拓也選手(前湘南ベルマーレ))にもご参加頂いております。スポーツが盛んで施設が充実し、気候も素晴らしいパースに心より歓迎します。日本人社会で応援に行きますので、是非リーグでのご活躍を期待しています。

そしてサッカーと言えば、6月5日にはサッカーワールドカップ予選の日本対オーストラリア戦もオプタスタジアムにて行われることとなりました。さらに3月15日のパース日本祭りでは、昨年夏の甲子園準優勝の関東一校のチアリーダーのバービーズ(2年前に世界大会で優勝)がパフォーマンス行います。

皆様と一緒に楽しみながら盛り上げて行ければと思います。

2025年も皆様のご健勝と、虹の会の一層のご発展をお祈り申し上げます。

以上